

シラチャ校だより

泰日協会学校シラチャ校
2024. 9. 30



大切にしたい修学旅行における「学びと気づき」の視点

シラチャ日本人学校 校長 藤枝茂雄

年度初めの突然のスケジュール変更により、今年度は9月の雨季の真^まっただ^{ただ}なか^{なか}に小学部の修学旅行を実施することになった。幸いなことに、「降水確率 90%」だった初日をはじめ、2泊3日のほぼ全日程で天候に恵まれ、アユタヤからカンチャナブリー方面にかけての旅行を終えることができた。

この修学旅行中、卒業アルバムへの掲載候補も含めて、集合写真を撮っている時に、タイ人の観光客と思われる人々が写真隊形の児童がいる場所に近寄ってきて、「日本人の子供たちと一緒に記念写真を撮らせてほしい」と依頼される場面に何度か遭遇した。もちろん、いずれのケースにおいても、在校生の個人情報保護と安全確保の観点から丁重にご遠慮いただいたのだが、このタイの人々の日本人の子供たちに対する親しみや好意的な姿はどこからきているのだろうか、そのたびに考えずにいられなかった。



旅行前に家庭科で学習したタイの伝統的衣装(チュット・タイ)をまとっての遺跡見学。タイの人たちにとっての仏教の聖域という気持ちをもった行動が素晴らしい。(アユタヤ)

修学旅行に参加した子供たちは、まだ12～13歳で、親日的なタイ人の大人との面識があるわけでもなく、タイ政府や企業と協力してタイ社会に貢献する事業を行ってきたわけでもない。それを考えると、これまでタイ人と関係を築いてきた「戦後を生きた日本人の大人世代が、どのようにタイという国、及びタイの人々と向き合ってきたか」という、「親日性を探究するための視点」を子供たちに投げかけていく必要があるのではないかという思いに至った。

カンチャナブリーでは、^{たいめんてつどう}泰緬鉄道の工事によって亡くなった方々への慰霊碑に、千羽鶴をささげ、慰霊の児童合唱をすることが、本校の修学旅行の一つのハイライトにもなっている。この泰緬鉄道については、「日本軍による捕虜等を^{こくし}酷使した過酷な労働による多くの犠牲者」に単一的に焦点を当てた形で捉えられがちである。

しかし、この鉄道に対する別の視点を提示するとしたら、この慰霊碑が、戦後に行われた国の賠償事業や戦没者^{ついでう}追悼の事業として建てられたのではなく、現地の日本軍が敗戦などを全く想定してない1944年の2月*に、日本人自身の手によって建てられたという事実から、「本国からの完成期限厳守の命令の絶対性と、命の尊厳を重んじる人間性」の間で葛藤^{かっとう}した現地の日本軍鉄道隊のトップの複雑な心情を察するための教材となるのかもしれないなどと思いを巡らせた。



泰緬鉄道の犠牲者への慰霊塔に千羽鶴をお供えするシラチャ校の児童

さらに、戦後の新憲法（現行の日本国憲法）の公布から約 80 年もの間、自衛隊の組織としての戦闘命令（武力の行使）によって世界中のただ一人の命も奪っていない戦後の日本人は、平和を愛する一国の国民として、世界の諸国民の信頼に足る行動と責任を十分に果たしてきたのではないかと考えた。

私たちが暮らしているタイにおいて、現地のことをしっかりと学び、過去と現在と将来の日本とタイ、日本と世界の間を結ぶ視点を提供することになる「修学旅行」という教科横断的で総合的な「学びの場」の価値を、教育に携わるものとしてあらためて認識する必要があると感じた 2 泊 3 日であった。

*この時点では、大陸に派遣されていた日本軍が大きな損害を被った拉孟^{らもう}の戦いもインパール作戦もまだ始まっていない。

お悔みと、安全確保への一層の注意について

去る 9 月 18 日に中国深圳において、現地の日本人学校への登校中に不幸な事件に遭われ、亡くなられたお子様に対して、深く哀悼の意を表します。なお、今後も引き続き、本校に在籍する児童生徒、及び教職員の一層の安全の確保に努めて参りますので、登下校をはじめ、家庭生活も含めて、注意喚起、及び安全確保へのご協力について、よろしく申し上げます。

主人公は君だ！

～Break your limit～

太田 賢吾

7月13日。シラチャ校の運動場では、これまでの練習の成果を十分に発揮しようとする子供たちの姿が見られました。まさしく、一人一人が主人公。限界を超えようと精一杯に取り組む姿と、保護者の皆様による温かい声援が重なり、感動的な運動会となりました。しかし、その成功の陰には、子供たちの努力がありました。ここでは、その軌跡を記したいと思います。

6月初旬。5、6年生と中学生は運動会の運営に関わる係決めを行いました。実行委員会はすぐに Google フォームを活用して全校児童生徒からスローガンを募りました。選定されたスローガンを横断幕に美しく表現したのは装飾係です。体育委員はラジオ体操の手本となることに加え、反転して行えるように練習を重ねました。審判係は、徒競走でスムーズな順位決定ができるように役割を分担し、動きの確認をしました。

運動会当日。子供たちが安心、安全にテント下で待機できたのは、児童管理係のみなさんのおかげです。さらに、昨年度を超える運動会にするべく、プログラムの間にも子供たちは力を注ぎました。用具係は必要な道具の設置、片付けを素早く正確に行い、招集係は次の種目の紹介ボードを掲げました。放送係は前後の種目についてアドリブで語り、1～9年生の応援団は常に互いを鼓舞し会場を盛り上げました。赤白の勝敗の行方にドキドキしたのは、得点係による絶妙な掲示タイミングによるものです。

各学年、学部の演技や競技は、小道具を用いたり、タイと日本の双方に視点を置いたりするなど創意工夫が施されていました。その一方で練習時間は限られていました。そこで、朝や弁当の時間にも手本の動画、音源を流すことで覚えられるのではないかと子供たちが教師に提案する学級もありました。このような積み重ねが、運動会当日の成功に結びついたのでした。

P T Aからいただいたポカリスエットもエネルギーに変え、全力を尽くした子供たち。次に来るシラチャ祭という大きな行事でも存分に光り輝いてくれることだと信じています。

中野 遙奈

運動会当日の朝は、天気にも恵まれ、まさに絶好の運動会日和となりました。7月13日運動会本番当日に至るまで、それぞれの学年や応援団、係など、自分の仕事に責任をもって主体的に取り組む生徒の姿が輝く運動会となりました。温かい声援と拍手をくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。

そんな中で一際輝く姿を見せてくれたのが、赤白小中それぞれの応援団長さんと応援団のみなさんです。特に今年度は1年生から9年生まで、全学年合同での応援団の応援を行いました。競技中の応援を小学部高学年の応援団が担当して作成し、全体で行う応援を中学部が構成しました。練習ひとつひとつでも並ぶことに時間がかかってしまったり、指示を通すのが難しかったりと、試行錯誤しながら進めていく様子が見られました。「どうしたら覚えやすいか」「どうしたら低学年も一緒にできるか」と検討し、1か月弱でひとつのものを作り上げ、大きな声を出して笑顔で応援する姿に胸が熱くなりました。

応援団の活動後、中学部の生徒に声をかけたところ「元気で明るい小学部が居てくれてよかった！」と、小学部の児童からは「中学部のお兄さんたちがおもしろかったから頑張れた。来年もやりたい！」という声を直接聞くことができました。それぞれの学年が、役割を全うし、お互いの功績を称えあうことができる。シラチャ校の子供たちの未知の可能性を感じました。

次はシラチャ祭です。自分の可能性を最大限に引き出して、それぞれが主人公として輝ける舞台となるよう、期待しています。





9月に着任されたタイ語の先生を
ご紹介します。

以前は猫が怖かった

ドゥアンカモン ポンシン



サワディーカ。以前は猫が怖かったドゥアンカモン ポンシンです。

私は東北地方にあるシサケート県で生まれました。18歳のときにコンケン大学に入って、10年ほどコンケンに住みました。大学2年生のとき、私と6人の友達は同じ寮の同じ階に住むことにしました。



ある日、隣の部屋の友達が突然猫を連れてきました。初めて猫に会うため、私の心はドキドキしていました。小さくて白くて、マリちゃんという名前の猫でした。私はペットを飼ったことがないので、マリちゃんのことを怖くなりました。ところが、その友達がほかの場所での活動に参加しなければならなくなり、私にマリちゃんの世話を頼んできました。私はびっくりして、どうすればいいだろうと思いました。頼まれた仕事は、マリちゃんと一緒に遊んで、ご飯をあげることで、それほど難しくはないものでした。私はマリちゃんと仲良くなりました。長い時間一緒にいたので、疲れてベッドで横になりました。すると、私のおなかの上にマリちゃんがゆっくり歩いてきて、寝てしまいました。そのとき、私は猫が怖くなくなりました。「あ、かわいい」と思って、気分もよくなりました。

大学を卒業して、その友達が自分の家に帰ったので、私はマリちゃんに会うことができなくなりました。私は悲しくて、その猫に会いたくてたまりませんでした。それ以降、私は野良猫と遊んだり、インスタでかわいい猫をフォローしたりしています。



時がたち、3年前に私は猫を飼い始めました。名前は「Third」です。サードは胴体が長くてオレンジ色で、男の子です。サードが一番好きなことは寝ることです。彼の生活はあまり忙しくありません。毎日、ご飯を食べたら寝ます。

先月、私は新しい仕事に就きました。そのため、コンケンからシラチャに引っ越すことになりました。突然のことで、サードと一緒にシラチャに来ることができませんでした。今、サードはコンケンで友達の家にいます。でも、今月の末からシラチャでサードと一緒に住むことができるようになります。そのことを思うと、とても幸せです。サードくん、ママはここで待っています。





今年度着任された先生方の文章を
順番に紹介していきます。

好きなことを続ける

5年1組担任 津留眞由美

子供のころから本が好きだった私は、毎日図書館に通っていました。当時は土曜日も授業があったので、毎週図書の先生とご飯を食べた後、本を並べたり修理したりして過ごしたことを覚えています。中学校での好きな教科は体育や英語でしたが、本を読むことはずっと好きでした。

高校3年生になってクラス替えの希望を出すとき、私は就職希望を出しました。両親に大学の学費は出せないと言われていたからです。ところが、3月のある日、2人の先生が私の家に来られました。両親と何か話をしているようでした。次の日、私は父に「大学を受けても良い。」と言われました。2人の先生が両親を説得してくれたのです。私が諦めていた、大学進学でした。「大学に行きたい。」その一言がどうしても言えなかった私の気持ちに先生たちは気づいていたのでしょう。高校生活最後の一年間、必死に勉強して大学に合格した日の喜び。うれしいはずなのに、なぜか心臓が締め付けられるほど深い感情でした。何十年もたった今でも「あの日、先生たちが来られなかったら、自分はどんな人生を送っていたのだろう。」と思い出すたびに恩を感じています。そして、高い壁が目の前にあっても諦めずにずっと好きな勉強を続けていてよかった、と思うのです。

無駄なことは何もない

岡村 里香

山と海ではどちらが好きですか？好みはあると思いますが、私は断然、海が好きです。大好きです。だから、海辺の町シラチャに住むことができ、とても嬉しいです。

砂浜を撫でるさざ波の音や、岩場をドーンと打ち砕くような大波の音を聞いていると、なぜか心が落ち着く気がします。そしてそんな時、ふと過去の出来事に思いを馳せることがあります。嬉しかったことや幸せだったこと、素敵な出会いもあれば、辛かったこと、悲しい別れ、思い出したくないようなことなど、様々な出来事がありました。「あの時こうしていれば…」という後悔の念に駆られることもあります。

でも、今になってふり返ってみると、どれ一つとして無駄なことはなかったと思えます。様々な出来事がパズルの一つ一つのピースのようにはめ込まれ「今の私」ができました。そう考えると、辛かった出来事さえもいとおしく感じ、今、進行中の出来事もきっと未来の自分につながるのだと前向きにとらえることができます。

これから、シラチャでの生活の中で、素敵なピースをいっぱい増やしていこうと思います。さあ、次はどんなピースがやってくるのかな？ なんだかワクワクしてきます。

一歩一歩コツコツと

1年1組 望月 みあ

中学生の授業の発表や高校進学、さらには大人になってから海外で働いている現在の私を作り出したのは、毎日コツコツと努力を積み重ねた日々があってこそだと感じています。どんなに困難に思えることでも、わずかな希望がある限り、歩みを止めるべきではありません。頭の中で「なりたい自分」を想像できるなら、それは無謀な挑戦や夢ではなく、叶えられる可能性がある大切な「なりたい自分」です。

しかしながら、現実はそのように甘くなく壁にぶつかり、不安や自信喪失に胸が苦しむこともあります。そのような時はそんな自分も私の大切な一面なんだと受け入れ、自分を見つめ直し、小さな一歩でも進むことを意識してきました。

無理に大きな成果を求めるのではなく、自分のペースで進むことが大切だと思います。一歩一歩進むうちに、以前は届かないと思っていた目標が、気づけば少しずつ近づいてきます。大切なのは、自分らしさを忘れず、自分にとっての「正しい道」を進み続けることです。どんな困難が訪れても、努力を重ねていくことで、やがて夢は現実となると信じています。誰になんと言われようと、一番近くで無視できない距離で自分をみているのは、自分である。ということをお忘れずに大切に向き合っていけたらいいなと思います。





10月の行事予定

日	曜	児童・生徒の予定	バス時刻
1日	(火)	・放課後指導(1年)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
2日	(水)	・購買(注文票配布日)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
3日	(木)	・購買(注文票提出日)・放課後指導(2年)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
4日	(金)	・学級だより配信(小学部)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
5日	(土)	・シラチャ祭 保護者鑑賞日	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
6日	(日)		
7日	(月)	シラチャ祭振替	
8日	(火)	・放課後指導(1年)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
9日	(水)		14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
10日	(木)	・放課後指導(2年)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
11日	(金)		14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
12日	(土)		
13日	(日)	前国王記念日	
14日	(月)	振替休日	
15日	(火)	・放課後指導(1年)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
16日	(水)	・縦割り班活動(1~9年) ・購買(注文票配布日)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
17日	(木)	・購買(注文票提出日)・放課後指導(2年)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
18日	(金)	・カオキアオ動物園遠足(1年) ・委員会(小学部)・学級だより配信(小学部) ・進路ガイダンス(9年,14:10~15:00)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
19日	(土)		
20日	(日)		
21日	(月)	・クラブ(小学部)・放課後指導(3年)	14:20 P1-3 15:25 P4-6 M1-3
22日	(火)	・放課後指導(1年)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
23日	(水)	チュラロンコーン大王記念日	
24日	(木)	・アクティブタイム(中学部)・放課後指導(2年) ・イオン見学(3年)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
25日	(金)		14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
26日	(土)		
27日	(日)		
28日	(月)	・進路面談(9年、9年生5時間授業) ・放課後指導(3年)	14:20 P1-3 M3 15:25 P4-6 M1-2
29日	(火)	・実力テスト(7,8,9年)・放課後指導(1年)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
30日	(水)	・Jパーク見学(2年)・進路面談(9年、9年生5時間授業)・購買(配布日)	14:20 P1 M3 15:25 P2-6 M1-2
31日	(木)	・環境学習(7年)・進路面談(9年、9年生5時間授業)・購買(提出日)・学校、学年だより配信 ・学級だより配信(中学部)・放課後指導(2年)	14:20 P1-2 M3 15:25 P3-6 M1-2

★は特別バスです。通常の下校バスと時刻が違うときについています。

第6回シラチャ祭

いよいよ10月5日(土)は第6回シラチャ祭保護者鑑賞日となります。これまでの練習の成果を発揮するため、精一杯頑張る子供たちの姿をどうぞご覧ください。なお、詳細につきましては9月20日(金)に各クラスルームのストリームに配信済みですので、再度ご確認ください。

小1・2・3校外学習

10月18日(金)は小学1年生が、10月24日(木)は小学3年生が、10月30日(水)は小学2年生がそれぞれ校外学習を予定しています。

校外学習の目的は、学年やその学習内容によって様々ですが、普段、学習している教室では味わえない体験的な学習を行えたり、喜びや感動、驚きを味わえたりできることもその目的のひとつです。更には「地域を知る」ということも大切な学習のひとつです。ぜひ、自分たちが校外学習に行く目的を明確にし、ひとつでも多くのことを学んでくれることを期待しています。

9年進路面談

10月28日(月)より9年進路面談を実施します。面談日の3日間は、9年生は5時間授業での下校となります。詳細につきましては後日お知らせします。

中学部実力テスト

10月29日(火)は中学部の実力テストです。7年生にとっては初めての実力テストになりますが、定期考査とは違い、これまでの学習内容全てがテスト範囲となります。また、この結果は、高校受験の上で大切な資料にもなります。日々の学習を大切に、計画的に取り組んでいきましょう。

7年環境教育体験学習

10月31日(木)は7年生が Mangrove Forest Conservation Center にて環境教育体験学習を行います。タイにおける環境保全の取組を学び、実際にマングローブの植林体験することで、自然環境の保全について考える貴重な機会となります。

